

2022(令和4)年度における各施策・事業の目標・方向性一覧(案)

【大項目(重点事項)①】共に支え合う地域づくり

○ 介護予防・日常生活支援総合事業

注項目	介護予防・生活支援サービス事業	施策・事業名	通所型サービス A
2022(令和4)年度の目標・方向性			
○ 事業所同士が連携し資質向上に向けた研修や取組みを行うことができるよう支援します。			
○ 高齢者の社会参加の取組みや認知症高齢者を支える取組みについての周知啓発を進め、事業所と意見交換を行います。			

中項目	介護予防・生活支援サービス事業	施策・事業名	くらしいきいき教室
2022(令和4)年度の目標・方向性			
○ 通所サービスを新規に利用する際には、最初に利用することを推奨します。			
○ 事業所の全体的な資質向上に向けた、事業所連絡協議会を創設し、協議会による研修会の開催支援を、事業所等関係機関と意見交換しながら検討します。			

中項目	介護予防・生活支援サービス事業	施策・事業名	栄養いきいき訪問
2022(令和4)年度の目標・方向性			
○ 予防及び早期改善のため、保健事業と介護予防の一体的実施における低栄養予防事業も並行して検討します。			

中項目	介護予防・生活支援サービス事業	施策・事業名	いきいき訪問
2022(令和4)年度の目標・方向性			
○ 利用者数の減少に対し、広く再周知を図りながら、ケアマネジャーのアセスメント支援として、利用促進が図れるよう、関係機関と意見交換等を行っていきます。			
○ 事業所全体の資質向上に向けた事業所連絡協会の創設に向けて、取組みを進めていきます。			

中項目	介護予防・生活支援サービス事業	施策・事業名	えぶろんサービス
2022(令和4)年度の目標・方向性			
○ 市民や関係者に対して本サービスの周知を図りながら、利用者の増加を図り、高齢者の地域での自立した日常生活を促進します。また、必要に応じて次年度以降の実施方法を検討します。			

中項目	介護予防・生活支援サービス事業	施策・事業名	「通いの場」応援隊
2022（令和4）年度の目標・方向性			
○ 「桑名市介護支援ボランティア制度」を活用し、生活支援コーディネーターと連携して、「移動支援」のニーズの地域差を踏まえて、サービスや担い手の創出に向け、圏域会議などで議論をして進めていきます。			

中項目	介護予防・生活支援サービス事業	施策・事業名	シルバーサロン
2022（令和4）年度の目標・方向性			
○ 可能な限り徒歩圏内で、地域住民を主体として、地域交流の機会を提供する「通いの場」の「見える化」・創出に取り組みます。			
○ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に応じて、参考情報提供や、別途補助基準の検討等、適宜フォローを行います。			
○ 介護予防に資する、身近な交流の場の在り方について、サロンスタッフをはじめとした地域の方と意見交換を行いながら検討していきます。			

中項目	介護予防・生活支援サービス事業	施策・事業名	健康・ケア教室
2022（令和4）年度の目標・方向性			
○ これまで参加者数が30人／月を超える月だけが助成の対象でしたが、参加者数に応じた金額を助成する仕組みへと見直し、人員やスペースの確保に課題があり、助成対象となつてこなかった事業所に対しても助成を行うことで、新規事業所の事業実施への動機づけや事業内容の充実を図ります。			
○ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により事業実施が困難な状況が続いているため、実施に当たっての参考情報を提供するなど、適宜フォローを行います。			

中項目	介護予防・生活支援サービス事業	施策・事業名	ささえあい支援事業
2022（令和4）年度の目標・方向性			
○ 活動の「見える化」や、活動に対するポイント制度等を導入することで元気高齢者の活動を促進していきます。			
○ 地域での意識の共有や地域力の向上を目指し、市内での横展開を図っていきます。			

中項目、施策・事業名	健康増進事業と一体的な介護予防事業の展開		
2022（令和4）年度の目標・方向性			
○ 日常生活圏域において、健康課題をもとに地域活動の場である「通いの場」等において、健康づくりと介護予防の視点を入れた出前講座等を実施し高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を展開していきます。			
○ KDBシステムから一定の条件により抽出されたハイリスク高齢者に対して、情報提供や健康相談、保健指導及び訪問等を行います。			

中項目	一般介護予防事業	施策・事業名	介護予防把握事業
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 約12,000人を対象として、「桑名市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(いきいき・くわな)」を実施します。 ○ 前年度のニーズ調査の結果からリスクの高い人に対して、地域包括支援相談員や各地域包括支援センター職員が戸別訪問を実施します。 ○ ニーズ調査未提出者を抽出し、健康状態を確認し、必要に応じて、医療、介護サービス、「通いの場」等につなぎます。 			

中項目	一般介護予防事業	施策・事業名	料理教室事業
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後は料理教室に限らず、介護予防のための食生活改善事業としてどのように展開するか検討します。 			

中項目	一般介護予防事業	施策・事業名	おいいきいきプログラム
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ オーラルフレイルチェックで、ご自身の状況を把握してもらい、口腔機能低下予防が、全身の健康維持にもつながることをお伝えします。 ○ 口腔機能低下がみられた場合は、改善に向けた指導を行い、日常的にセルフケアを行えるよう支援します。 ○ 口腔機能低下がみられない対象者にもオーラルフレイル予防に対する啓発を行います。 			

中項目	一般介護予防事業	施策・事業名	高齢者サポーター養成講座等
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民を主体とする「サポーター」の活動や、介護予防に資する「通いの場」の運営に結び付けるため、より参加しやすい方法を検討します。 ○ 社会福祉協議会で実施している様々なボランティア養成講座との関連付けを行いながら、地域の状況に応じた開催を行い、修了者のサポーター活動を促進します。 			

中項目	一般介護予防事業	施策・事業名	桑名市介護支援ボランティア制度
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者の介護支援ボランティア活動による地域貢献を積極的に奨励するとともに、より良い活動ができるよう支援します。 ○ 介護支援ボランティア登録者および登録事業所の増加を図りながら、高齢者の社会参加及び地域力の拡大の観点でボランティア活動を推進していきます。 			

中項目	一般介護予防事業	施策・事業名	介護事業所における自立支援・重度化防止の取組
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護事業所がリハビリテーション専門職等による助言を受け資質向上を行えるよう支援します。 ○ 事業所間での資質向上に向けた研修等の実施を促進します。 			

○ 生活支援体制整備事業

中項目	生活支援体制整備事業	施策・事業名	生活支援コーディネーターの配置
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民を主体とした「サポーター」、「通いの場」について「見える化」・創出に取り組み、相互のネットワークを醸成するため、市全体を区域とする第1層の生活支援コーディネーター1名及び地域包括支援センターの管轄区域に第2層の生活支援コーディネーター5名を引き続き配置します。 			

中項目	生活支援体制整備事業	施策・事業名	協議体の設置
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民を主体とした「サポーター」、「通いの場」について「見える化」・創出に取り組み、相互のネットワークを醸成するため、段階的に第2層の「協議体」を設置していきます。この第2層「協議体」設置に向けては、各関係者との情報共有及び連携・協働を図りながら働きかけをすすめます。 			

中項目	生活支援体制整備事業	施策・事業名	日常生活支援に関する地域住民に対する普及啓発
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活支援コーディネーターが、日常生活支援に取り組む必要性等について地域住民や民間事業者に対して、地域で開催するワークショップや出前講座などの実施をすすめ、普及啓発を行っていきます。 			

中項目	生活支援体制整備事業等	施策・事業名	健康・ケアアドバイザー派遣
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き「通いの場」の継続的な運営のために専門職の派遣を行います。 ○ 貴重な地域資源である、地域の専門職の関与推進に向けて、関与する健康・ケアアドバイザーの登録をすすめていきます。 			

【大項目(重点事項)②】多職種の協働・連携

○ 地域ケア会議推進事業

中項目	地域ケア会議推進事業	施策・事業名	地域支援調整会議
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<p>○ 市又は地域包括支援センターの主催により、高齢者虐待、多問題等の支援が困難な事例に対応するため適宜開催します。開催にあたっては、高齢者施策に係る支援者、支援機関以外にも、関係機関や関係者に出席を広く呼びかけ、情報共有とより良い支援方針を協議する場とします。また、会議を整理し、ケースの状態や支援の目的を共有することで、支援対応力の向上を目指します。</p>			

中項目	地域ケア会議推進事業	施策・事業名	地域生活応援会議
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<p>○ アンケート結果から、より効果的なケアマネジメント支援に向けて実施方法等を検討し、リニューアルを図ります。</p> <p>○ ケアマネジメント支援の充実に向け、より多くの居宅介護支援事業所に参加していただけるよう努めます。</p> <p>○ 個別事例検討の積み重ねから地域課題の抽出、資源開発や地域づくり等の政策形成に向け、圏域会議等とより連動するよう検討していきます。</p>			

中項目	地域ケア会議推進事業	施策・事業名	圏域会議
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<p>○ 全ての圏域において、地域課題の分析・抽出、地域づくり・資源開発などに向けた取り組みの充実を図ります。</p> <p>○ 地域の関係者等を必要に応じてメンバーに加えることにより、「圏域会議」から「協議体」へ発展することを推進します。</p>			

○ 在宅医療・介護連携推進事業

中項目	在宅医療・介護連携推進事業	施策・事業名	在宅医療・介護サービスに関する地域資源の「見える化」
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<p>○ 「くわな在宅医療・介護マップ」及び「桑名市在宅医療・介護サービス地域資源リスト」を更新し、必要な情報を提供できるよう努めます。</p> <p>○ ゆめはまネットを活用して、「地域資源一覧」を随時更新し、関係者に最新情報を提供できるよう努めます。</p>			

中項目	在宅医療・介護連携推進事業	施策・事業名	課題の抽出及びその解決のための方策の協議
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の現状や課題を関係者と共有し、同職種と多職種で対応策を検討していきます。 ○ 「桑名市在宅医療・介護連携推進協議会」及び「桑名市在宅医療・介護連携調整会議」等を開催し、事業の進捗状況の把握と評価、改善策の検討を行い、事業計画を立案します。 			

中項目	在宅医療・介護連携推進事業	施策・事業名	在宅医療・介護連携に関する地域住民に対する普及啓発
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「アドバンス・ケア・プランニング」の市民への普及啓発と、関係者への協力の呼びかけを引き続き行います。 ○ 在宅医療や介護、看取りに関する理解の促進のため、地域住民向けの講演会等を開催します。 			

中項目	在宅医療・介護連携推進事業	施策・事業名	在宅医療・介護連携に関する医療・介護専門職に対する研修
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内の医療・介護・福祉関係者が、事業の目的について理解し、協働できるよう、同職種や多職種での研修会を開催するとともに、質の高い内容や効果的な実施方法について検討を進めます。 ○ 病院との合同研修会や認知症に関する研修会を開催します。 ○ 「アドバンス・ケア・プランニング」への理解をより深めるため、専門職向けの研修会を開催します。 ○ 急変時の対応において、医療・介護・救急の連携を円滑に進めるため消防本部との合同研修会を開催します。 			

中項目	在宅医療・介護連携推進事業	施策・事業名	在宅医療・介護連携に関する相談の受付
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 在宅医療・介護の連携拠点施設として、在宅医療・介護関係者からの相談の対応と連携の支援を行うとともに、在宅療養患者に必要な情報の提供を行います。 			

中項目	在宅医療・介護連携推進事業	施策・事業名	在宅医療・介護サービスの提供に関する情報の共有
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 多職種連携の基盤であるゆめはまネットの利用促進と周知を図ります。 ○ 他自治体との情報連携や診療報酬に結び付けた活用等、より有効な活用方法について、他自治体の取組も参考にしながら検討します。 			

○ 認知症総合支援事業

中項目	認知症総合支援事業	施策・事業名	普及啓発・本人発信支援
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症地域支援推進員を中心に、効果的な普及・啓発のあり方を検討し幅広い人に認知症の理解を深めるため認知症市民公開講座や図書館やショッピングセンターでの認知症に関する啓発等、取り組みを進めていきます。 ○ オレンジカフェなど認知症地域支援推進員の活動を通じ、本人発信支援の取り組みを検討します。 			

中項目	認知症総合支援事業	施策・事業名	予防
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「通いの場」などへの社会参加を促進し、認知症予防に関する周知啓発に取り組みます。 ○ 認知症で支援につながっていない人をより早期に把握できるよう、「桑名市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査『いきいき・くわな』」から抽出された訪問支援対象者の状態を把握し、適切な初期集中支援対象の抽出基準の検討を行います。 			

中項目	認知症総合支援事業	施策・事業名	医療・ケア・介護サービス・介護者支援
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修を通じ、医療・介護従事者の認知症対応力向上を推進します。 ○ 認知症ケアパスを認知症地域支援推進員と共に見直しを行い、周知や活用に努めます。 ○ 地域の介護事業者や店舗などの身近な場所で、継続して参加できる、オレンジカフェについて検討していきます。 			

中項目	認知症総合支援事業	施策・事業名	認知症バリアフリーの推進・社会参加支援・若年性認知症の人への支援
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症地域支援推進員を中心に、認知症の本人、家族、認知症の人を支える地域住民、医療・介護事業所等のネットワーク形成を積極的に行い、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに努めます。 ○ 民間企業、小・中学校等での認知症サポーター養成講座の開催の充実に取り組みます。 ○ 地域包括支援センター合同でステップアップ講座を開催し、認知症サポーターの活躍の場の創出や、チームオレンジの推進を検討します。 ○ 若年性認知症に関する相談窓口の啓発や、本人・家族のニーズの把握に努めます。 			

○ 地域包括支援センター運営事業

中項目、施策・事業名	地域包括支援センター運営事業
2022（令和4）年度の目標・方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 主任介護支援専門員、保健師、社会福祉士を各2人以上、合計8人の配置に努め、満たない場合は認知症初期集中支援チーム員又は認知症地域支援推進員として活動できる介護支援専門員の配置をするなど職員配置の定着を図ります。 ○ 事業運営方針評価指標に基づき、ヒアリングを実施することによりPDCAサイクルの効果を活用し、センター機能の向上を図ります。 	

○ 総合相談支援事業

中項目	総合相談支援事業	施策・事業名	地域共生社会に向けた見守り協力
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 民間事業者等との協定締結を推進するとともに、高齢者見守りネットワークの協力事業所に対し、地域共生社会に向けた見守り協力に関する協定への移行を勧奨します。 ○ 事業者によっては協定締結から数年以上経過している点に鑑み、本協定について啓発し、地域共生社会への意識付けを図るとともに、認知症サポーター養成講座の受講勧奨等、締結事業者の「見守り」に対する理解の促進を図ります。 			

○ 権利擁護事業

中項目	権利擁護事業	施策・事業名	虐待の早期発見・早期通報
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者に対する、虐待の早期発見・早期通報に関する取組を行います。 ○ 一定のリスクを抱える高齢者について、困難事例化してからの対応ではなく、関係機関と連携し、問題の複雑化を予防する対応に努めます。 			

中項目	権利擁護事業	施策・事業名	法人後見及び市民後見の提供体制の整備
2022（令和4）年度の目標・方向性			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症等により判断能力が低下した状態にある高齢者が成年後見制度を適切に利用ができるよう、法律専門職を始めとする各種専門職との連携を促進します。 ○ 成年後見制度を適切に利用できるよう、法人後見の推進及び市民後見人の育成・支援を行います。 ○ 「成年後見制度利用促進基本計画（市町村計画）」を元に推進し、適切な制度運用に繋がります。 			

○介護給付適正化事業

中項目、施策・事業名	要介護・要支援認定の適正化
2022（令和4）年度の目標・方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 審査件数が年々増加する中でも、認定調査票、主治医意見書の確認作業において、担当者間で大きな差異が生じないよう継続して取り組んでいきます。 ○ 認定審査会の各合議体間における判断に大きな格差が生じないよう、県主催の研修会参加や合議体構成員の入替えを促していきます。 	

中項目、施策・事業名	ケアプランの点検
2022（令和4）年度の目標・方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 要介護・要支援認定者のケアプランに対し、地域生活応援会議、ケアプラン点検等により、自立支援に資するケアマネジメントの実践に向けた支援を行い、ケアプラン・給付の適正化につなげていきます。 ○ ケアマネジメントの適正化に対し、より実践的な効果が得られるよう、地域生活応援会議の実施方法等の見直しを検討します。 ○ 点検する側の資質向上を行っていきます。 	

中項目、施策・事業名	特定施設入居者生活介護の指定を受けていない有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅
2022（令和4）年度の目標・方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 三重県と連携し、有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅の把握を進めるとともに必要な指導を行います。 ○ 集合住宅居住者のケアプランの検証を行うための実態の把握と検証方法を検討します。 	

中項目、施策・事業名	福祉用具貸与・購入及び住宅改修の点検
2022（令和4）年度の目標・方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉用具購入又は住宅改修を実施した人の実態調査を行うに当たり、書類審査を活用することで、より多くの調査件数を確保していきます。 ○ 市が作成した住宅改修の手引きの周知・徹底も併せて行っていきます。 	

【大項目(重点事項) ③】 多機能施設の地域展開

中項目、施策・事業名	施設サービスと同等な機能を地域に展開する在宅サービスの提供体制の重点的な整備
2022（令和4）年度の目標・方向性	
○2022(令和4)年度に定期巡回・随時対応型訪問介護看護を1事業所、2022(令和4)・2023(令和5)年度にそれぞれ2か所の事業所で小規模多機能型居宅介護又は看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)を公募し、指定します。	
中項目、施策・事業名	新しい形のサービスの基盤整備
2022（令和4）年度の目標・方向性	
○多世代共生型拠点の整備として、2022(令和4)年度に1か所の事業所で特定施設入居者生活介護、2022(令和4)年に2か所の事業所で認知症対応型共同生活介護を公募し、指定します	
○介護人材の確保の観点から障害者の雇用等幅広い人材の確保や介護離職を防ぐ取組みの普及啓発を進めます。	
中項目、施策・事業名	地域包括ケアシステムを支える人材の確保等
2022（令和4）年度の目標・方向性	
○ 介護人材の確保を「資質の向上」「地域力の拡大」「労働環境等の改善」の観点で進めていきます。	
○ 事業所の資質向上の取組みを評価するほか、主任介護支援専門員の育成の強化を支援します。	

【大項目(重点事項) ④】 地域共生社会の実現

中項目、施策・事業名	共生型サービスの推進
2022（令和4）年度の目標・方向性	
○ 同一の事業所でサービスを利用できる共生型サービスへの移行を図り、障害者が高齢者となった場合のサービス利用におけるリロケーションダメージの軽減に努めます。	
中項目、施策・事業名	「多世代共生型拠点」の整備
2022（令和4）年度の目標・方向性	
○ 高齢者・障害者・子ども・地域住民などが交流を図れる多世代共生型拠点となる福祉施設の整備を進めます。	
中項目、施策・事業名	包括的な相談体制の在り方の検討
2022（令和4）年度の目標・方向性	
○ 令和4年度から重層的支援体制に移行するために、庁内の連携体制を整備します。	
○ 「福祉なんでも相談センター」の実績評価をすることにより、包括的な相談支援体制の在り方を検討していきます。	